

## 「団塊の世代」仕事への意識について調査 50代男性、仕事人生は「忍耐」と「苦勞」、 辛い時支えとなったのは「家族」7割、「自分自身」2割と回答

～ 50代男性を中心にアンケート ～

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ(本社:神戸市、取締役社長:神崎 茂治、資本金:201億円、東ノ大証一部上場)は、本年4月より一斉退職が始まりその動向が注目を集める「団塊の世代」にあたる50代男性に「仕事」と「家庭」に関連した意識調査を行いました(巻末に調査概要を記載)。

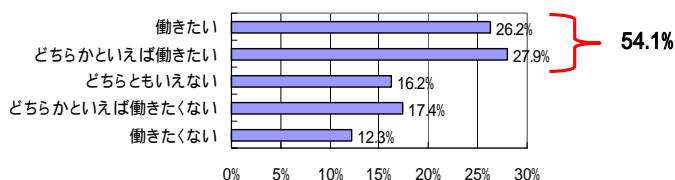
### 50代男性「一生現役」志向が2割

まず、50代男性が「仕事」に対してどのような意識を持っているかを聞いてみました。すると、50代男性の過半数から「まだ働きたい」との回答を得ました。その回答者の半数が「継続雇用」(38.8%)、「パートタイムなど時間制雇用」(14.2%)で「今の会社」で働くことを希望しています。

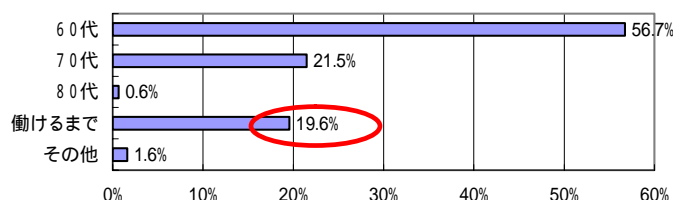
「何歳まで働きたい?」との質問に対しても、半数が定年を迎える60代まで働きたいと答えていますが、70代以降も働きたいという人があわせて約4割、その中でも約2割が、年齢にこだわらず、「働けるまで」働きたいと答えています。「仕事」に対してやはり熱心な世代のようです。

また、50代男性の26.1%が仕事に「満足している」と回答したのに対し、30～40代男性は15.7%と、10ポイントの差がありました。50代男性は、仕事に対する満足度も他の世代に比べ高いようです。

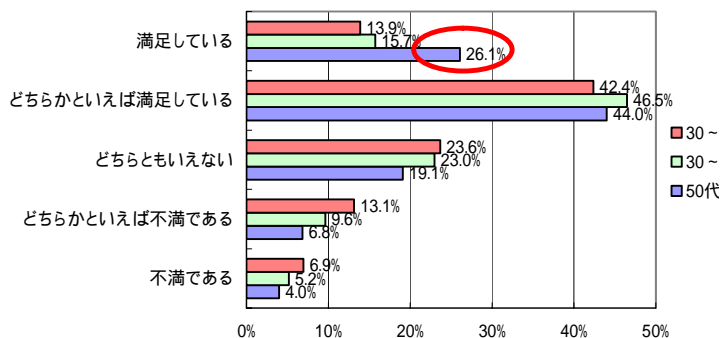
Q1. あなたは定年後も働きたいですか。 50代男性 n=587



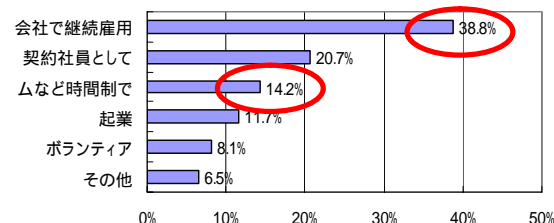
Q2. あなたは何歳まで働きたいとお考えですか。 50代男性 n=312



Q3. あなたは自分の仕事に満足していますか?



Q4. 定年後はどのような働き方が理想ですか。 50代男性 n=309



30～60代女性

n=1036

30～40代男性

n=540

50代男性

n=702

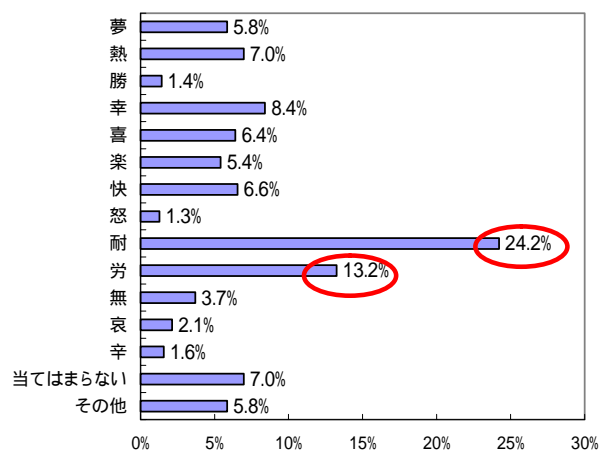
しかし、「仕事人生を漢字一文字で表すと？」の問いに対する回答を見ると、これまでの仕事に満足はしていても、その道のりは決して平坦なものではなかったことが伺えます。忍耐の「耐」、苦勞の「勞」がずば抜けて高く上位にランキングされました。

また、選ぶ漢字の傾向は職業によって差があり、「会社員・公務員」と「自営業」を比較すると、前者が後者よりも選んだ数が多いのは、「快」「怒」「耐」「勞」「哀」、またその逆は、「夢」「勝」「幸」「無」「辛」でした。

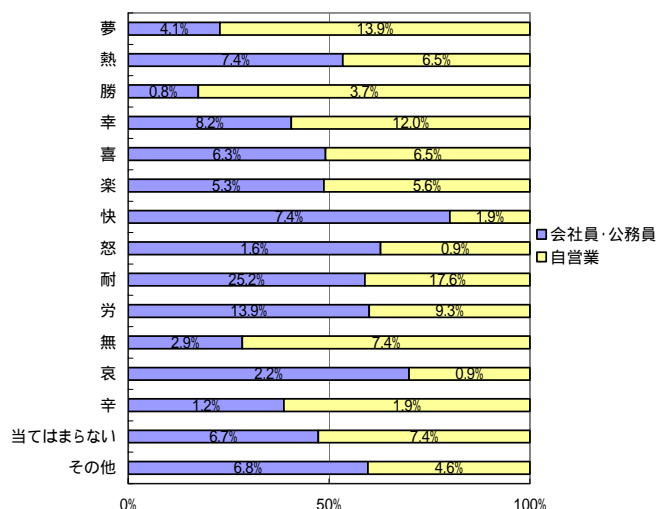
言い換えてみると、「会社員・公務員」は、「快いことがあっても、耐えることが多く悲哀を感じてきた仕事人生」を、「自営業」は、「辛いことが多いが、夢を追い求めて、勝ちを掴むことができた幸せな仕事人生」を送ってきたということなのでしょう。

Q5 あなたの仕事人生を1つの漢字であらわすと、どれに当てはまりますか。

50代男性 n=702



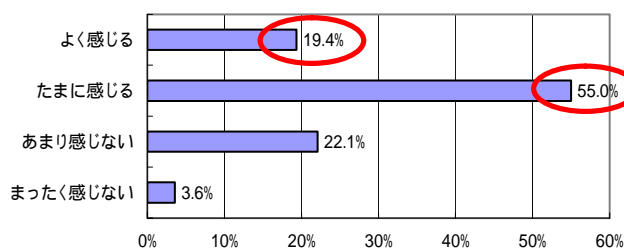
Q6 あなたの仕事人生を1つの漢字であらわすと、どれに当てはまりますか 50代男性 n=702



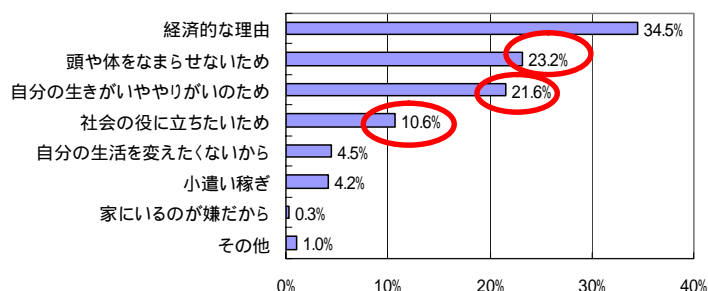
次に「自分は働きすぎと感じることはありますか？」との質問に、50代男性の約8割が「働き過ぎ」と感じたことがあると答えています。その一方、定年後も「働きたい」と54.1%が答え、その理由は、「経済的な理由」が34.5%で最も多かったのですが、「自分の生きがいややりがいのため」「社会の役に立ちたいため」「頭や体を休ませないため」という仕事に対する積極的な回答が過半数を超えています。一見、矛盾するようにも思えますが、50代男性は働き過ぎと感じつつも、仕事を通じて自分のやりがいや達成感を多く感じてきた人たちののかもしれません。

ここで、他世代からの団塊の世代(男女含む)の印象について聞いてみたのですが、「働くのが好き」という印象がやはり最も強いようです。逆に、「遊ぶのが上手」という印象は、約6%にとどまりました。他世代から見ても、団塊の世代は仕事に熱心な印象が強いようです。

Q7 自分は働きすぎと感じる(感じた)ことはありますか。 50代男性 n=702

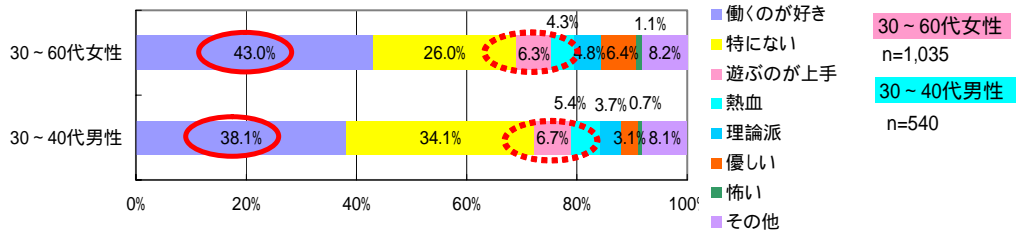


Q8 あなたが定年後も働く理由は何ですか。 50代男性 n=310



Q9 あなたから見て50～60代(男女を問わず)の印象はどうか。

(複数回答)



### 50代男性リタイア後の楽しみ約7割が「家族との旅行」

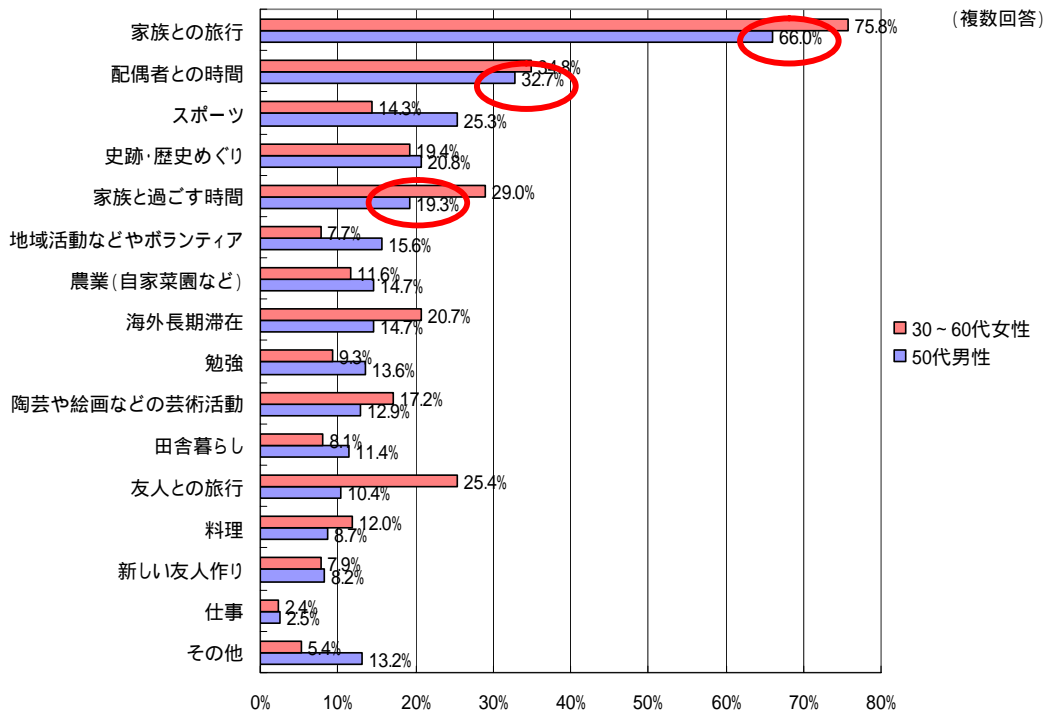
仕事に熱心な50代男性も、リタイアしてからは、仕事以外にも生活を楽しもうとしているようです。85%が「リタイアしてからの人生で楽しみにしていることがある」と回答しています。「家族との旅行」(66.0%)、「配偶者との時間」(32.7%)、「家族と過ごす時間」(19.3%)など、とくに「家族との時間」を楽しみにしているようです。30～60代女性と比較して、「スポーツ」(25.3%)や「地域活動などやボランティア」(15.8%)、「勉強」(13.6%)、「田舎暮らし」(11.4%)に興味のある50代男性が多いようです。

一方、妻にあたる30～60代の女性は、「家族との旅行」(75.8%)が1番多い結果となりましたが、「友人との旅行」(25.4%)、「家族と過ごす時間」(29.0%)、「料理」(12.0%)、「海外長期滞在」(20.7%)、「陶芸や絵画などの芸術活動」(17.2%)に50代男性よりも興味があるようです。

Q10リタイアしてからの人生で楽しみにしていることは何ですか。

30～60代女 n=594

50代男性 n=597

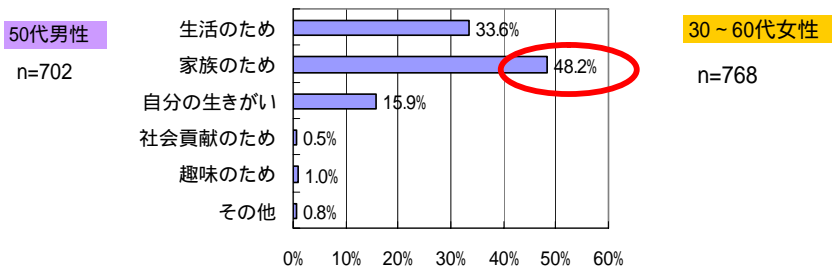
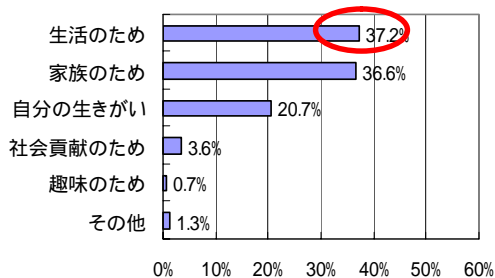


### 50代男性の34.2%「家庭よりも仕事を優先」

次に、「仕事」とは切り離すことのできない「家庭」との関係について聞いてみました。

まず、50代男性に働く目的を聞いてみると、「生活のため」(37.2%)、「家族のため」(36.8%)と続きます。一方、妻たちは夫と違い、夫の働く理由は「家族のため」(48.2%)、「生活のため」(33.6%)と順位が逆転し、15ポイント近くの差ができました。

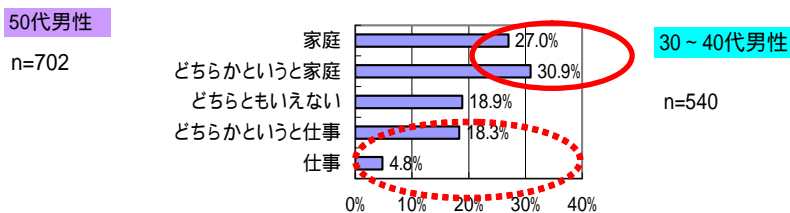
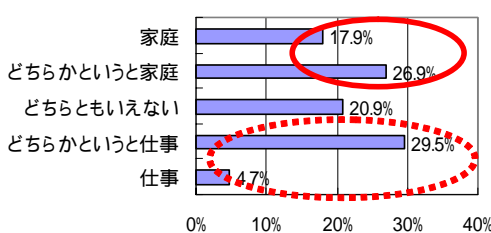
Q11 あなたは何のために働いていますか。(働いてきましたか)。 Q12 あなたはの配偶者は何のために働いていると思いますか。



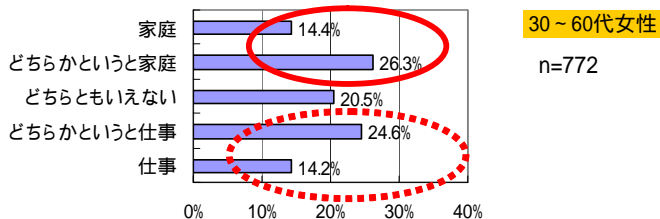
50代男性は、仕事に意欲的な傾向であることから、やはり、「家庭」よりも「仕事」を優先してきたという意識の人が比較的多いようです。50代男性の中で「家庭よりも仕事を優先してきた」と答えた人が34.2%で、30～40代男性の23.1%と比較してみると、11ポイントの差がありました。

一方、妻たちは、「夫は仕事よりも家庭を優先してきた」(40.7%)、「夫は家庭よりも仕事を優先してきた」(38.8%)とほぼ同じ割合という結果ができました。意外にも「家庭を優先」している妻が多いようです。

Q13 あなたは家庭と仕事、どちらを優先していますか(優先してきましたか)。

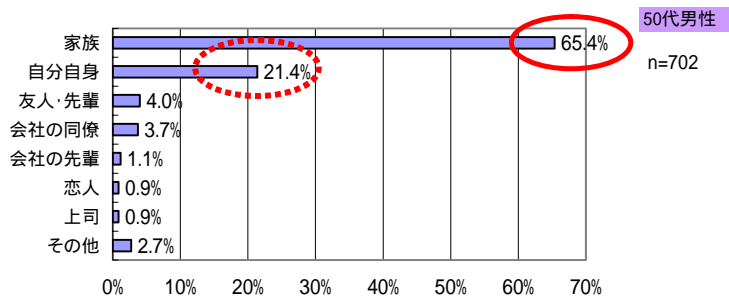


Q14 あなたの配偶者は家庭と仕事、どちらを優先していると思いますか。



次に、「仕事で辛いとき支えとなったのは誰ですか?」との質問に対して、50代男性の約7割が「家族」と答えましたが、2割の人が「自分自身」と答えています。仕事が辛くても、自己完結で乗り越えてきた男性が2割とも言い換えられます。これを妻たちはどのように受け止めるでしょうか。心境としては少々ショックな数かもしれません。夫からすると、「家庭に仕事は持ち込まない」という考えに基づいての回答だったのかもしれませんが、その両者の「すれ違い」が最近急増している「熟年離婚」にもつながっているのでしょうか。「『熟年離婚』についてどのように思いますか?」との質問に対し、「もしかしたら」と不安をもっている人が50代男性、女性共に2割ほど、また少数派ですが「熟年離婚」を検討していると回答した女性の割合(4.1%)が50代男性(1.0%)と比較して4倍という結果となりました。

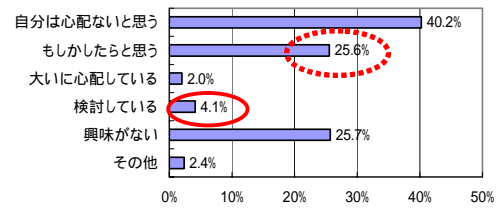
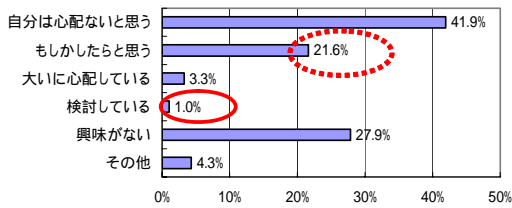
Q15 仕事で辛いとき(辛かったとき)支えとなったのは誰ですか。



Q16 あなたは最近ちまたで話題の「熟年離婚」についてどう思いますか。最も当てはまるもの一つお選びください。

50代男性 n=675

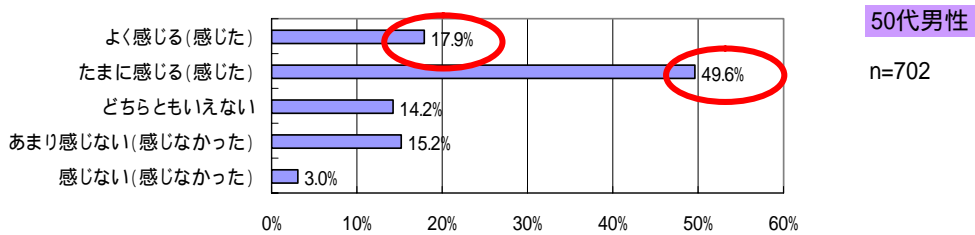
30-60代女性 n=798



### 50代男性の7割が世代間ギャップを経験

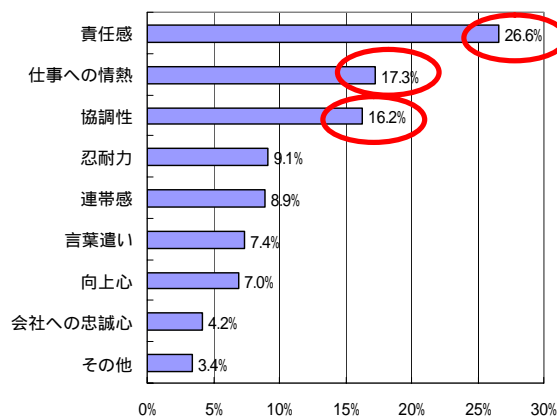
次は、50代男性から見た若い世代について聞いてみました。全体のうち7割の人が世代間ギャップを感じたことがあるようです。そして、どこにギャップを感じたかという、仕事に対する「責任感」(26.6%)、「仕事への情熱」(17.3%)、「協調性」(16.2%)が上位となりました。「仕事に対する姿勢」に対して、若い世代とのギャップを感じています。若い世代は50代男性からクールでドライな印象で捉えられているようです。

Q17 あなたは仕事の上で世代間のギャップを感じるがありますか。(ありましたか。)



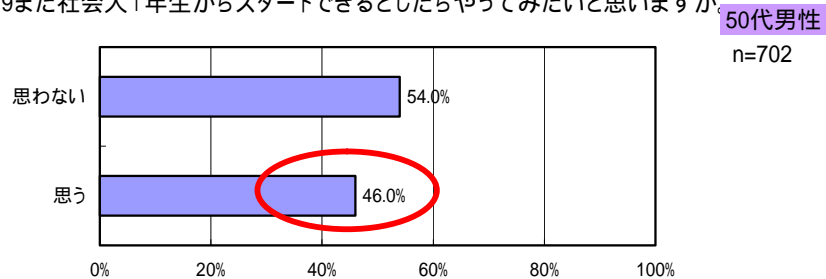
Q18 それはどんなことですか。

50代男性 n=474



そして、50代男性に、もし「また社会人1年生からスタートできるとしたら？」と質問したところ、2人に1人がまた挑戦してみたいと答えています。現状に対しての不満から「もう一度やり直してみたい」と答えている人もいかもしれませんが、7割が自分の仕事に満足していると考えている世代なので、「また新たに挑戦してみたい」という仕事に対する前向きな姿勢の表われなのではないかと分析します。

Q19また社会人1年生からスタートできるとしたらやってみたいと思いますか。



最後に、50代男性に若者へ言いたいことを自由回答で集めてみました。仕事に対する姿勢を励ますものが大半で、「情熱」や「責任」をもってほしい、仕事をするということは「耐える」ことである、「人間関係を大切に」という意見でした。また、挨拶などのマナーの徹底も目立ちました。

50代男性は厳しい競争社会を生きてきた世代だからこそ、多くの場面で耐えることや苦勞することがあったと思います。だからこそ、これからを担う世代にも、情熱を持って仕事に取り組んでほしいと願っているのかもしれない。

#### がんばれ編

- ・ 少子高齢化でこれから大変だと思いますが、自分を信じてがんばれ。
- ・ 自らの時代は自らで作るべき
- ・ 愛社精神をもっともてるようになれば、仕事も変わってくる
- ・ きちんと職についている若者に対しては、「立派である。体を壊さない様に」
- ・ 青年よ大志を抱け！！
- ・ 10年後の自分をイメージして挑戦せよ

#### もっとしっかりしろ！編

- ・ 基本動作（挨拶、姿勢、言葉使い、気配りなど）をきっちり身につけてほしい
- ・ 豊かすぎる時代しか知らないのだから、規律も甘いと思うから、少し苦勞したほうがよい
- ・ 責任感を持って！
- ・ もっとやる気を出せ！
- ・ 自分に対してもっと厳しくあれ！
- ・ 権利を主張しすぎるな
- ・ 人生の目標を持って生きる

#### 教訓編

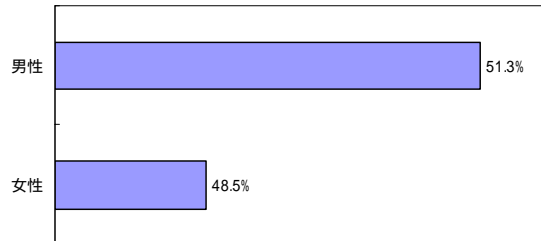
- ・ 本をたくさん読みなさい
- ・ つらい仕事があるがその後に楽しいことがある。楽な仕事のあとには必ず苦がある。
- ・ 忍耐あるのみ
- ・ 石の上にも3年
- ・ 嫌な事があって、やめなくなったら、まずどうしたら続けられるかを考えること。
- ・ 「足るを知る」こと

< アンケート調査概要 >

【方 法】 Web アンケート  
 【期 間】 2007 年 4 月  
 【対 象】 30～50 代男性、30～60 代女性  
 【サンプル数】 2417 サンプル

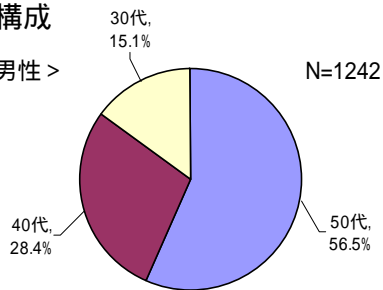
男女比

N=2417

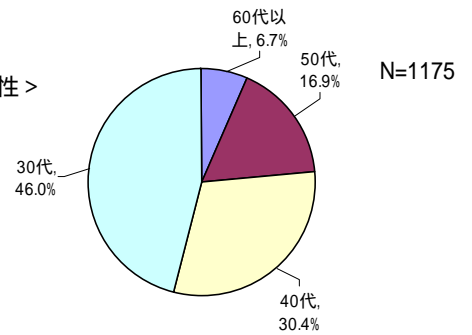


年代構成

< 男性 >

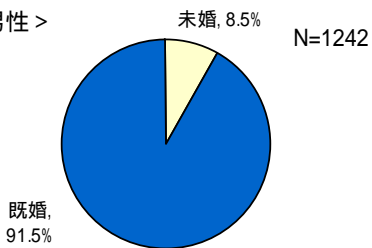


< 女性 >

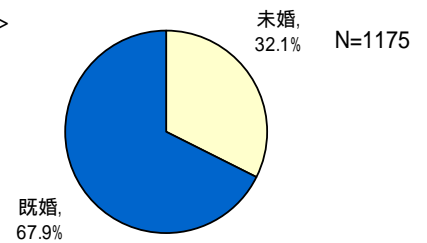


既婚率

< 男性 >



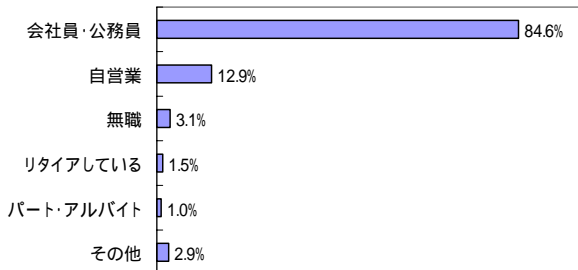
< 女性 >



職業

< 男性 >

N=1242



< 女性 >

N=1175

